

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「はじめてのファミリーキャンプで星空を見上げよう」支援事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人浅間山麓国際自然学校 (0267-23-3124)
事業区分	(6) ア特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,195,860 円 (うち支援金：896,000 円)

一層を対象に、初めてでも気軽に参加できるキャンプ活動を実施。都心からの貸切バス、キャンプ用品(テント・寝袋・キッチン用品等)のレンタル、子供の野外活動体験プログラム(自然体験、星空観察)を付帯した旅行会社が主催となるパッケージモデルツアーを開催した。



コープトラベルが主催となり7家族、25名の参加となった。

キャンプ場は小諸市糠地にあるみはらし交流館を使用し交流施設利用者の増加を図るとともに野外体験は周辺農家での収穫体験、自然散策などを行い、夜は専門家による星空観察会を開催し、佐久地域の自然を活かした野外活動の推進を図った。

事業効果

幼児(未就学児童)を含むファミリー層を対象とし、コープトラベルによる募集としたことで都市部の新たな利用者を獲得することができた。キャンプ体験や星空観察を通じて幼少期から佐久の自然や人々に親しむことにより、今後の佐久地域の利用増加に期待が持てた。

既存の交流施設を活用したことで、地元の方々の協力が不可欠となり、参加者と住民との交流が多く好評であった。地元としても交流施設の利用率増加に期待が持て、参加者意見としても施設は好評であった。夜の星空観察については、天候が不順で室内のスライドと外での観察と行ったり来たりではあったが、専門家によるスライドや解説は大変好評であった。

今後の取り組み

貸切バスやキャンプ用品の付いたパッケージプランには人気があり、今後はコープトラベルをはじめ旅行会社の商品として推進していく予定である。

また、専門家による星空観察は悪天候時のスライド解説でも大変好評であったため、今後も旅行パッケージプランに付帯させる形で推進を図り星空の街をアピールしていきたい。

【目標・ねらい】

- 若年ファミリー層の利用者増加
- 既存の施設の活用
- 星空観察による滞在時間の増加
- 子供の野あそびの推進

※自己評価【A】

【理由】

応募時期が遅かったため、参加者は予定より少なかったが、アンケート等を見ると大変好評であったこと、今後コープトラベルの商品として継続できた点が評価できるものとする。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある